

シリーズ

おいどんがふるさと

宮之城屋地区

さつま町内の20区公民館が取り組んで特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 藤原 範 幸さん

宮之城屋地区は、3本の国道が通うさつま町の中心に位置する町内で最も人口・世帯が多い区です。

区では、花いっぱい運動などの地域活動を積極的に行い、区民が一体となった地域づくりを進めています。

また区の中には、大型ショッピングセンターや魅力ある商店街づくりに取り組んでいる個性あふれる商店があり、多くの買い物客などで賑わっています。



◆人口 4,275人 ◆世帯数 1,806世帯 ◆公民会数 14公民会

地域活動



地域活動支援事業を活用して、「宮之城屋地区げんき文化まつり」や「花いっぱい運動」など多くの活動を行い、地域の活性化を図っています。区では、これらの活動を通して区民の輪を広げています。

イベント



毎年夏に屋地の商店街通りをメインに「さつま町夏まつり」が開催されます。250台の五ツ太鼓と1,000人以上の踊り子の共演、迫力ある神輿の練り歩きなどが行われ、大いに盛り上がります。

景勝地



愛宕の高台にある帝釈天公園からは、市街地と紫尾山を一望することができます。四季でそれぞれ変化する紫尾山を撮影するには絶好のスポットです。

また、春には約100本のソメイヨシノ・八重桜が咲き誇り、多くの人が訪れます。

文化財



今年で創立148年を迎える盈進小学校は、15代島津久治が文武館を建て、文館（勉強する所）を盈進館、武館（体を鍛える所）を巖翼館と名づけたのが始まりで、県下で最も古い学校です。校庭には、今でも当時からある「せんだんの木」と「くすの木」が残っています。